

大会テーマ 第41回宇治市青少年健全育成推進大会

気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ



第3部 講演 演題 「信頼関係の築き方」

講師 京都市動物園

生き物・学び・研究センター長

田中 正之 氏

動物たちの幸せを目指して

第2部 実践活動報告

ジュニアリーダー会の報告

ジュニアリーダー 細山 朋寛さん

ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会

参加児童発表

宇治市立北檜島小学校5年生 島田 千尋さん

宇治市立大久保小学校5年生 岡田 桃佳さん

地域青少協活動報告

宇治黄檗学園青少年健全育成協議会

部 正永 会長

「気づいてる? あなたのまわりのあたたかさ」をメインテーマに青少年健全育成関係者や育友会・PTA等の市民が一堂に会し、研修や交流を深め、実践的な活動をより一層推進することを目的に第41回宇治市青少年健全育成推進大会を開催しました。当日は100人を超える参加者があり、人と人とのつながりを感じるとてもあたたかい大会となりました。

日時 令和6年1月28日(日) 13時

場所 宇治市生涯学習センター

第1部 式典・感謝状贈呈式



発行者 宇治市青少年健全育成協議会
会長 鳥繁行
事務局 宇治市教育委員会教育支援課
TEL 0774-20-8766



浅春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は青少年の健全育成に、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年1月1日に石川県能登半島地方を震源とした地震により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の皆様の安全確保と被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

さて、令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染状況は元に戻りつつありますが、その代わりに、インフルエンザが猛威を振るい、子ども達には、相変わらず負担の多い生活が続いています。早く、子ども達のためにより良い環境になることを望みます。

今年度は、当協議会の大きな柱であるジュニアリーダー養成(ふる里)学習会や、第41回宇治市青少年健全育成推進大会を多くの方にご参加頂き、開催することが出来ました。地域青少協の事業におきましても、事業の内容は変わりつつも、計画された多くが開催されました。

しかし、一度動きが止まった生活や地域活動は以前と様子が変わってきました。子ども達も大人も、人間関係の希薄化は進んでいます。団体によっては、事業内容の引継ぎができないまま役員が交代されているとお聞きます。以前のことを知っている役員が、アドバイスをしながら協力して、人と人がつながり合える地域作りに努めることが大切ではないでしょうか。

これからも当協議会は、地域青少協の活動の充実、京都府青少年育成協会や城陽・久御山等、他地域の青少年育成団体との連携、グリーン運動の実施、中学生の主張大会の実施、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会の実施等、各種団体との強力な連携を強め、地域の実情に即応し、地域に根ざした健全育成活動を進めたいと思います。

結びに、市民の皆様、各種団体の皆様これから益々のご活躍とご健康、ご多幸を願い、ごあいさつとさせていただきます。

宇治市青少年健全育成協議会

会長 鳥 繁行



令和5年度 宇治市青少年健全育成感謝状贈呈

ありがとうございます これからもよろしくお願いします

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、グループ、青少年及び青少年指導者等を顕彰し、その活動を奨励するとともに、広く一般に周知することにより、青少年健全育成活動が一層促進される契機となることを狙いとしてこの事業を実施しています。



個人

- 木幡中学校区青少協
- 小倉小校下青少協
- 神明学区青少協
- 檜島小校区少年補導委員会
- 菟道第二小校区少年補導委員会
- 菟道第二小校区少年補導委員会
- 小倉小校区少年補導委員会

- 岡 麻子 様
- 久保田幹彦 様
- 吉田美恵子 様
- 後藤 博史 様
- 塩見 恵子 様
- 田原 康男 様
- 宝壁 眞澄 様

団体

- 宇治市五ヶ庄南部喜老会 様
- 京都翔英高等学校 様
- 河原青少年センター茶道クラブ 様
- 大久保青少年センター茶道クラブ 様

(順不同)

第2部 実践活動報告 ジュニアリーダー会の報告

コロナ明けのジュニアリーダーは
細山 明寛さん



（発表より要旨抜粋）
私が最初にジュニアリーダー会に参加したのは小学校5年生の時でした。当時は新型コロナウイルス感染症が流行する前だったので、

たくさん小学生や大人の方々が参加されていた。それによって、養成（ふる里）学習会の内容や規模も今年と少し異なっていました。様々な国の方から来てその国の文化などを教えて貰える国際交流がありました。新型コロナウイルス感染症の影響で参加して貰えるのが困難になり、別のイベントを企画しなければならなくなりました。更に、たくさんの中高生がリーダーとして参加していました。しかし、今年の養成（ふる里）学習会は、例年よりも少ない人数ながらも今まで以上の経験を小学生に体験してもらおうことができました。

今年のジュニアリーダー会が例年と大きく違う点は、中学生のリーダーが一人しかいないことです。今まで参加していた人が中学生になっても続けたと思った人やリーダーの人を見て自分もあんな人になりたいと思った人がなっていました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で約三年間も活動できない状況がありました。

3年越しのジュニアリーダー会は今までの倍以上に大変に思えました。それは、中学生と小学生では責任の重さが違うからだと考えています。自分の班の小学生に集中することができていました。しかし、リーダーの方を見る立場になったことで、仕事の量も増え、一つ一つの行動が重要になることもありました。更には、大学生としての生活もあり、自分のことジュニアリーダー、この両方が今までも大変に感じました。高校生の時にはリーダーとしての活動がなかったため、中学生時代と現在の忙しみのギャップに驚きを隠せませんでした。

約3年間という子どもにとっては大きな期間で、社会は様々な変化を遂げました。生活様式だけでなく人との接し方など精神的な部分でも変えることを強いられた。そんな中でも、ジュニアリーダー会という素晴らしい企画が無事に成功したことを嬉しく思います。これからも、少しでも力になれるように精一杯頑張ろうと思います。



ジュニアリーダー養成（ふる里） 学習参加児童発表

ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会に参加して
宇治市立北横島小学校5年 島田 千尋さん



僕は、海の近くにあるマリーピアというところで、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会に参加しました。この学習会では

36人の小学生たちが、4はんに分かれて6人のジュニアリーダーのもと、共同生活を学びました。また、ジュニアリーダーを中心に、みんなが協力し合い、キャンプファイヤーやカッター訓練、朝の集いなども行いました。

この学習会の中心であるジュニアリーダーは、まず話をするとき大きな声でゆっくり、はっきりとしゃべっていました。それからジュニアリーダーが話をしていることがひじょうにわかりやすく、次の行動に遅れたり、まちがったりせず、ついに行くとできました。

また、ジュニアリーダーは、みんなのしている行動をよく見て、トラブルがおきないかを注意していました。例えば、あぶないことをしていたら、それははいけないことだと教えたり、けんかをしそうになったら止めにはいたり、間違った行動をしていたら声をかけたりしていました。だから、ぼくたちは、安心して共同生活を送ることができました。

そのほかにもジュニアリーダーは、学校で学ばないコミュニケーションや生活に必要なことなど、たくさん教えてくれました。だから、初めての相手でも仲良くせうすることができました。

この学習会に参加して、次はジュニアリーダーとしても参加したいと思いました。でも、ぼくにはまだ人に分かりやすく説明をしたり、まわりをよく見て行動をする力はないので、ジュニアリーダーになれるように勉強していきたいと思っています。



ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会を楽しむこと 宇治市立大保小学校5年 岡田 桃佳さん



私は、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会に参加して特に楽しかったことを四つ紹介します。

一つ目は、キャンプファイヤーです。キャンプファイヤーではそれぞれの班からゲームを出して楽しみました。私の班は、聖徳太子ゲームという何人かで同時に別の言葉を言い、何の言葉を言っているかを当てるゲームをしました。話をしたくない人も仲良くできました。

二つ目はカッター訓練です。ふだんは体験できないことができたからです。一人では動かすことができませんが、みんなの力を合わせて動かすことができたときは、とてもうれしかったです。三つ目は、夕食、朝食、昼食です。私は食事係でみんなのために決められた役割をすることは大切だということ学びました。協力して配膳したご飯はとてもおいしかったです。

四つ目は、この学習会に参加して学んだことです。5分前行動をすることによって、時間を守る大切さ分かりました。他の学校、学年の人と関わることで、学校では体験できないことができました。何度も参加した人たちにたくさん教えてもらったので、次は私が他の人に教えてあげられるようになりたいです。ふだんでは学べないことを学べたので、参加してよかったなと思いました。私が高校生になったらリーダーとして活躍したいと思います。



マリンピアに行ってきました！

令和5年8月5日(土)～6日(日)に京都府立青少年海洋センター（マリンピア）においてジュニアリーダー養成（ふる里）学習会を実施しました。当日は、晴天にも恵まれ、参加児童からは「来年も参加したい！」という声が多く聞こえてきました。



地域青少協の活動報告

宇治黄葉学園青少年健全育成協議会
会長 正永氏



（発表より要旨抜粋）
皆さんもご存じの通り、今から11年前の平成24年に、その当時で創立10周年を数えておりました宇治小学校の

敷地内に、宇治市10校目の中学校であります。黄葉中学校が設立されて、施設・体型の小中一貫校である宇治黄葉学園が誕生しました。

その宇治黄葉学園の誕生から2年目の平成25年に当協議会が発足するわけですが、まずは、当協議会発足以前の青少年健全育成の取り組みの状況を説明させていただきます。

黄葉中学校ができるまでは、宇治小学校の子どもたちは、木幡中学校と東宇治中学校とに分進学をしていました。そんな関係で宇治小学校の子どもたちは、木幡中学校区で活動されている木幡中学校区青少協と、東宇治中学校区区内にあります自治連合組織の大和田区が運営する大和田区青少協の二つの青少協にお世話になっておりました。

（略）
平成24年、宇治市立黄葉中学校が開校し、小中一貫校宇治黄葉学園がスタートしたわけですが、この小中一貫校設立を契機として、各種の地域活動の在り方が見直される中で、宇治黄葉学園としての青少協設立の機運が高まってきました。平成24年の1年をかけて議論を重ね、翌年の平成25年に大和田区青少協が発展的解消をし、また木幡中学校区青少協の活動とは一線を画すかたちで、宇治黄葉学園青少年健全育成協議会が発足した次第です。

（略）
青少協を立ち上げるのはいいのですが、具体的にどのような活動をしていくべきかとの議論においては、大風呂敷を広げることばかりで、次の2点に絞って活動していくことの確認をしました。まず一つ目として、宇治小学校が従来取り組んできた「子供フェスティバル」や「左義長」をより充実したものとなるようにサポートしていくこと。二つ目には、宇治市内の青少協を束ねていこうとあり、すでに充実した取り組みをしてきた宇治市青少年健全育成協議会に積極的に参画していくこと、以上の2点です。ここからは当協議会の具体的な取り組みの様子



をいくつか紹介させていただきます。
まずは秋に開催されている「子供フェスティバル」です。宇治黄葉学園設立以前からある催しです。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、本校には教育後援会という組織がありまして、その役員は育友会のOBや地域のおじさんおばさん方です。その教育後援会と育友会が主体となって「子供フェスティバル」を催し、その内容は子どもの遊びコーナーであったり、各種の活動発表であったり、何となく子ども供たちの一番のお目当ては多岐にわたる模擬店の出店です。そこで我が青少協もサポート役として参画しています。小中一貫校の特色として中学生も積極的に参加してきています。
次に正月に実施しています左義長とクリーン運動です。この左義長とクリーン運動はセットで同日開催しております。左義長はグラウンドにやぐらをたてて火をつけるのですが、その日も教育後援会と育友会が主体となり、参加者にお餅や焼き芋の振る舞いがなされます。
その日に同時に開催されるクリーン運動は、左義長の点火時間に間に合うように、子供たちが保護者に付き添われて、いくつかの登校班のまとまりで、校区内のごみを拾い集めながら学校にやってくるという形をとっています。黄葉中学校の生徒たちも部活の単位で校区内の清掃活動を実施してくれています。これは小中一貫校ならではの光景だろうと思われれます。
（略）
これまでもずっとあったように、今後も華々しい活動はできないとおもいますが、地域の青少年の健全なる成長を願って、細く長くかかわっていかたいと思っています。どうか、今後とも関係各位におかれましては、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。この度の宇治黄葉学園健全育成協議会の発表とさせていただきます。

プレイバックR5推進大会



ジュニアリーダー クリスマス会



令和5年12月10日(日)に宇治市生涯学習センターでジュニアリーダークリスマス会を行い、夏に「マリリンピア」に参加した児童と共に、ゲームを行ったり、昼食を食べてみんなで楽しみました。

演題 「信頼関係の築き方」

～動物たちの幸せを目指して～

講師 京都市動物園 生き物・学び・研究センター長 田中 正之 氏

第3部 講演

動物にとって「信頼」とは

(当日配布の講師提供資料より抜粋)

・見知らぬ存在は、動物たちにとって、警戒すべきものであって、決して仲良くならない存在ではないのです。
 ・少なくとも動物に対しては、相手の警戒を解くほど見慣れた存在になることを「信頼」と呼んでもよいと思います。
 ・この信頼関係には、「餌をあげる／もらう」という獲得動機は必ずしも必要ではありません。
 ・何度も見ているが、その相手からは嫌な思いをさせられたことがないということが、動物たちから「信頼」を得るために第一に必要なものだと考えています。



地域青少協の活動掲示

令和6年1月28日(日) 宇治市生涯学習センター1Fロビー

市内10地域の青少協とジュニアリーダー会から、今年度の活動の様子が寄せられ、推進大会当日に掲示しました。今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、地域で多くの活動が行われ、笑顔が戻ってきました。



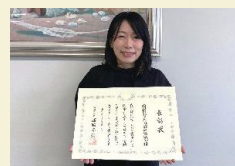
京都府青少年健全育成成功労者等 知事表彰(青空賞)を受賞

おめでとうございます

令和5年11月29日(水) 於 京都府公館レセプションホール



個人 宇治市青少年健全育成協議会
木幡中学校区代表
宇治市少年補導委員会副会長
内田 徹 氏



団体 南部校区青少年健全育成協議会
会長 **湯浅 真由美 氏**

令和5年12月19日(火) 市長へ受賞報告



第42回宇治市「中学生の主張」大会



令和5年11月11日(土)
宇治市文化センター小ホール

主催 宇治市教育委員会
宇治市青少年健全育成協議会
宇治市連合育友会

本大会は、人格を形成する上で重要な時期にある中学生が、「主張」を通して互いに考え、学び合う契機とするとともに、市民の中学生に対する理解や認識を深め、青少年健全育成の一層の推進を図ることを狙いとして昭和57年に設けられました。そして、42回を迎えた今年度も、市内11中学校の代表生徒が、学校生活や家庭・地域社会の中で経験したことや考えたこと、伝えたい思いを中学生ならではの鋭い感性と素直な気持ちで「主張」として真っ直ぐ届けました！

また、京都府立宇治支援学校は会場ロビーで学校の取組の紹介や、中学部生徒の作品展示を行いました。



◆受賞者

宇治市教育委員会賞	木幡中学校3年	日比 七彩
宇治市青少年健全育成協議会賞	北宇治中学校1年	小林里衣子
宇治市連合育友会賞	西宇治中学校1年	大和 愛茉

◆各校代表者

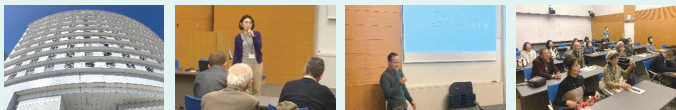
1 愛であふれていてほしいから	宇治中学校1年	中川 心美
2 後悔せずに生きるために	西小倉中学校3年	落亀 陽向
3 宣誓、僕は自由に生き続けることをここに誓います。	広野中学校3年	堀口 維真
4 壁をこえて伝える	立命館宇治中学校3年	竹本有里彩
5 日常生活の中で考える人権	東宇治中学校2年	西田 大峨
6 私はお姉ちゃん	西宇治中学校1年	大和 愛茉
7 友達	北宇治中学校1年	小林里衣子
8 優先席と心の声	南宇治中学校3年	市村望々花
9 職人が創り出すもの	木幡中学校3年	日比 七彩
10 家族が一人増えました。	榎島中学校1年	清水 唯楓
11 私の弟	黄檗中学校1年	城田 絢音

【表紙絵作成】 梅川 菜 (宇治中学校3年) 野村 聖和 (宇治中学校3年)
【司 会】 梅川 菜 (宇治中学校3年) 白方 優介 (宇治中学校3年)
(敬称略)

4年ぶりに管外視察研修を実施しました！

令和6年2月13日(火) JICA関西・兵庫県神戸市

核家族化や働き方の変化や生活様式の多様化等による地域コミュニティの希薄化が叫ばれる中、開発途上国をはじめ、海外の地域コミュニティはどういった現状なのか、また、学校ではどういった教育がされており、地域とどう関わっているか等を学びました。



令和5年度宇治市青少年健全育成協議会総会を開催

令和5年5月24日(水) 宇治市生涯学習センター第1ホール

総会では、POSTコロナ時代に対応するため、その時の社会状況に応じた柔軟な活動を行うことを確認し、役員・予算・活動方針を決議しました。

青少年非行・被害防止全国強調月間「啓発パネル展」

令和5年7月18日(火)～20日(木) 市役所1F市民交流ロビー



子供・若者育成支援推進強調月間「啓発パネル展」

令和5年11月27日(月)～30日(木) 市役所1F市民交流ロビー



編集後記

令和6年能登半島地震により被害にあわれました皆様に心からのお見舞いを申し上げます。普段、当たり前だと思っていたことが一瞬で、当たり前ではなくなった今回の災害で、改めて地域のつながりの大切さを考えました。

「宇治市青少協だより」は人と人とのつながりの活動報告が詰まっています。多くの方々に読まれ、青少協の活動に関心を持っていただけたら幸いに思います。

最後になりましたが、今回の青少協だよりの作成にあたり、関係各位にご協力いただきました事に深く感謝し、心より厚く御礼を申し上げます。

T.N

事務局紹介



(写真左から)
宇治市教育委員会教育支援課
堀江 紀子 (課長)
辻本 直文 (副課長)
石橋 路子 (家庭地域支援係長)
佐野 雅俊 (家庭地域支援係主任)
川井 利彦 (青少年専門指導員)



令和5年度宇治市青少年健全育成協議会役員

広報委員長	研修委員長	企画委員長	監査委員	監査委員	会計	副会長	副会長	副会長	会長
西川千香子	関河嘉賢	吉田廣昭	下山登	松田三良	下永田純則	青木英明	藤田佳廣	齊藤和男	鳶繁行